

# 平成19年度は主にこんな事業にお金を使います

第一次宇城市総合計画の5つのミッション（使命・任務）ごとに紹介します。

## Mission 1 自然と共生するエコタウンの構築

環境保全……………7832万円  
環境文化……………1200万円

## Mission 2 白寿へいざなうセルフケアの確立

保健……………3億3000万円  
健康増進……………1465万円  
地域医療……………671万円  
スポーツ・レクリエーション……………444万円  
食育……………209万円

## Mission 3 安定した生活・産業のインフラ整備

上水道・下水道……………10億5047万円  
道路・港湾……………9億1473万円  
農業……………7億5364万円  
水産業……………4億1538万円  
公共交通・情報通信……………2億9077万円  
土地利用……………9962万円  
住宅・宅地……………9342万円  
観光・物産……………8193万円  
都市・農村計画……………4778万円  
工業・1.5次産業……………4103万円  
商業・流通業……………3818万円  
公園緑地・都市景観……………3777万円  
雇用・労働……………200万円

## Mission 4 安全で安心できるライフサポート

社会保障・生活保護……………18億4139万円  
障害者福祉……………8億8667万円  
消防・防災……………2億7211万円  
児童福祉・子育て支援子育て支援サービスの充実……………2億1341万円  
高齢者・地域福祉……………2億25万円  
公害対策・環境衛生……………1億65万円  
治山・治水……………5712万円  
交通安全……………1517万円  
地域安全……………963万円  
消費者生活……………225万円

## Mission 5 ユニークな文化と心とひとつづくり

学校教育……………9億6450万円  
広域連携……………8億1507万円  
整備・建設……………3億7373万円  
文化・伝統……………1億5050万円  
コミュニティ……………2623万円  
社会教育……………2492万円  
生涯学習……………1270万円  
広報・広聴……………1495万円  
地域づくり・人材育成地域づくり活動の支援と活性化……………712万円  
男女共同参画 男女共同参画によるまちづくり……………366万円  
地域内・国内・国際交流……………217万円

### 財政健全化に欠かせない 「住民パワー」

市の財政がいかに厳しいかということ、少しでもご理解いただけたでしょうか。喜ばしいことに実際、市内では住民が「行政ができないからやらない」ではなく「できることからやろう」と不足する行政サービスを補うようにボランティア団体が自発的に組織されています。今後も情報を公開し市民の皆さんが監視の目を光らせることができるよう努めていきます。情報が明らかになれば中途半端な改革案や無駄遣い、ずさんな実態は皆さんから集中砲火を浴びることになるでしょう。市財政の強化には「危機感の共有」が必要不可欠なのです。

今後、安定した財政運営を行うためには財政調整基金繰入金を毎年度3億円以内、市債を30億円以内に抑えなければなりません。そのために来年度以降も、さらに厳しく事務事業を見直していきます。市は平成19年を「行財政改革の本丸」と位置付け「行政改革実施計画」と「行財政改革集中プラン」を基に、これまでのやり方を大きく変えます。施策に厳しく優先順位をつけ事業を計画する時は、まず「ゼロ予算事業（市が行う事業のうち予算を付けずに職員などを活用して行う事業）」を取り入れられないかを検討。今後も無駄遣いの洗い出しをさらに進める方針です。限られた貴重なお金を効果的・効率的に使い民間活力を活用しながら行政サービスの向上に努めていきます。





### 市の財政、このままで大丈夫？

# 「特別な会計」

予算は本来、一般会計で一体的に管理することが望ましいのですが、市が国民健康保険など特定の事業を行う場合、事業ごとの収支を明確にするため、一般会計と区別した特別会計の設置が財政法で例外的に認められています。



## 特別会計（総額 231 億 3561 万円）

※カッコ内は対前年度比

|   |   |
|---|---|
| <b>国民健康保険事業特別会計</b><br>83億1295万円<br>(15.4%)<br>国民健康保険の医療給付などに使われます。<br>                    | <b>簡易水道事業特別会計</b><br>2億4825万9千円<br>(▲5.9%)<br>給配水や維持管理などに使われます。<br>                  |
| <b>老人保健特別会計</b><br>77億266万7千円<br>(16.4%)<br>75歳以上の老人医療対象者や65歳以上の障害認定者の医療費などに使われます。<br>     | <b>公共下水道事業特別会計</b><br>17億3947万3千円<br>(14.4%)<br>下水の排水や維持管理などに使われます。<br>              |
| <b>介護保険特別会計</b><br>48億200万円<br>(1.1%)<br>寝たきりや痴ほうなどで要支援・要介護状態になられた人の介護サービス給付などに使われます。<br> | <b>農業集落排水事業特別会計</b><br>3億777万3千円<br>(40.8%)<br>農村地域のトイレの水洗いや生活廃水処理の整備などに使われます。<br> |
| <b>奨学金特別会計</b><br>2249万2千円<br>(25.3%)<br>  |   |

## 企業会計（支出総額 23 億 8989 万円）

※カッコ内は対前年度比

|  |   |
|--|---|
| <b>水道事業会計</b><br>18億4791万5千円<br>(前年並み)<br>上水道の給配水や維持管理などに使われます。<br> | <b>病院事業会計</b><br>5億4198万3千円<br>(前年並み)<br>病院事業（医療費用、医療外費用など）に使われます。<br> |
|--|---|

**企業会計とは**  
特別会計のうち市税を収入財源とせず、独立採算制を追求する、極めて企業的色彩の強い事業を行う場合に地方公営企業法の規定を受けて設置するのが企業会計です。一般会計やその他の特別会計とは異なり、民間企業と同様の経理を行います。

**膨らむ特別会計予算**  
「受益と負担」の関係を分かりやすくし、状況に応じて柔軟かつ効率的に予算を執行するのが特別会計の本来の趣旨です。しかし実際には特別会計の総額は231億3561万円にのぼり、例外のはずの特別会計が一般会計と同じくらいの規模に膨らんでいます。

さらに特別会計の収入のうち28億71万円は一般会計からの繰り入れでまかなわれ一般会計歳出の約1割近くを使っています。